

海外婦人労働資料 第38号

アメリカ婦人の パートタイム労働

労働省婦人少年局

は し が き

アメリカ合衆国では近年パートタイムの仕事に従事する婦人が増えて来ているようです。これはいろいろな事情で全日労働に従事出来ない婦人や、短時間労働を希望する婦人が、一定の雇用契約のもとに短時間労働に従事する方法で、準戦時下のアメリカにおいて、繁忙時の労働力不足を補い、又家庭内に埋もれている有能な婦人の知識や技術を社会に役立たせる有効な方法として、今後益々利用される傾向にあるようです。本書はアメリカ合衆国労働省婦人局が婦人のパートタイムの仕事について一九五二年、全国一〇都市において調査した結果の概要 (Part-Time Jobs for Women—a study in 10 cities—Summary) を訳出したもので、アメリカの婦人労働事情の一端として御紹介致します。

一九五二年七月

目次

一、何故にパートタイムが生れるか？	三
二、パートタイムの業務及びその要件	六
三、パートタイム労働への求人と求職	八
四、労働時間、所得、手当	八
五、パートタイム労働の長所短所	九

アメリカ婦人のパートタイム労働

定時制の業務は大抵の場合既婚婦人によつて、殊に以前に全日制業務に就いた経験と最低高等学校卒業の学歴のある三五才以上の既婚婦人によつて行われている。定時制労働者が子供を持つている場合は少い。大抵の場合定時制の労働者は全日制労働者として行つたと同じ種類の仕事を短い時間割によつて行うものである。通常の週間労働時間を相当下廻る就業時間が定時制労働を通常の雇用労働から区別する要点となつてゐる。定時制労働は既に多くの企業や社会機関においては長く確立された慣習となつてはいるが、新たな人々が自らそれに就く可能性を発見し続ける限り、それは一つの新しい要素を持つものである。定時制労働は経営の正常な必要から生れるものであつて、単に完全雇用、戦時の労働力不足、不況等の副産物ではない。

一、何故に定時制が生れるか？

使用者は企業運営上の要求に密接に関連のある種々の理由によつて定時制労働を採用する。婦人局が定時制雇用の調査を実施した二〇都市の使用千七十一名について見ると、その理由は大抵次に述べる九つの項目の一つ又は二つ以上のものに属する。

- 一、繁忙時又は最も仕事の多い期間に應ずるため（例えば商店、美容院、料理店、銀行）
- 二、全日制労働者の休養のため（例えば、病院、商店、劇場等）
- 三、短時間操業する施設を設けるため（例えば、教育施設、保険事務所、不動産事務所、医院、歯科医院）
- 四、定時操業する特殊のサービス又は事業のため（例えば教育施設、銀行その他の金融企業、医院及び歯科医院、社会事業機関、慈善、宗教又は会員組織の団体）
- 五、所定時間を超過して操業する施設の時間の一部を補うため（例えば劇場、病院）
- 六、予算の制限に対処するため又は費用を削減するため（例えば、社会事業機関、慈善、宗教又は会員組織の団体）
- 七、熟練労働者が定時制のみを欲する「特殊の場合」に應ずるため（例えば保険及び不動産事務所、出版所、銀行及びその他の金融機関、美容院）
- 八、事業の労働者の不足を補うため（例えば病院）
- 九、全日制労働を必要としない業務を行うため（例えば、慈善、宗教又は会員組織の団体銀行、その他の金融機関）

融機関

婦人が定時制を選ぶのは家族や家事の責任上全日制労働に従う事が出来ないためか或いは、その他の理由に

よつて短い時間割を好むからである。婦人局に詳細な報告をした婦人の定時制労働者千八百人について見ると次の三つの理由の二つ又は二つ以上に基いて定時制労働に従事している。即ち、収入を補い又はこれを増加するため、家庭外に関心を持つか又は家庭外との接触を保つため、自己の持つ技能及び能力も活用するため、またある者は定時制を選ぶ理由として身体障碍、老令、全日制の仕事を見つけることの困難、殊にその人達の特殊の経験及び技能にそつた仕事を見つけることの困難なことをあげている。

定時制労働者がその生計費を自分の収入のみに依存している事例はまれであるが、固定収入を補足する必要又はそのような意欲が定時制労働に従事する最も重要な理由であつた。婦人の定時制労働者の収入は成長した小児の学費や年間の家族旅行の費用に当てたり、新しい家や自動車を購入したり、生計費と年金、恩給、夫の俸給等の固定収入との差額を狭めたりする点において大いに貢献して来た。

自分の家庭や家族以外の世界に対して関心を持ちこれにふれる必要性を最も切実に感じた婦人は、すつかり成育し終るか、殆んど成育しきつた子供を持つた婦人であるか、又は子供を持たない婦人であつた。それ等の婦人はこの点を定時制労働に就く強力な理由であると認めていた。一部の婦人の言によれば、この点はそれによつて得た収入よりも遙かに重要な要素であつた。

看護婦、社会福祉関係労働者 (social worker)、実験所技術員、教員等の専門の訓練又は技術訓練を受けた

婦人はしばしば、それ等の人達の事間の分野の定時制労働は技能や能力——その当時全日制労働には用いることは出来なかつたが——を活用する機会を得たと陳べている。ある人達は自から好んで又は必要にせまられて後日その職業に全日制によつて就くことを期待し、定時制労働に従事しておれば自己の適確性を保持することが出来るであらうと、又常に技能を使つて居れば「腕が古くならない」であらうと感じていた。多くの人は自己の技能を活用せねばならないという社会的義務感を持つていた。特に彼等の働く分野が熟練者の不足という障礙に面している時にはそうであつた。

二、定時制の業務及びその要件

定時制業務は熟練した経験のある労働者を要求する。通常定時制業務には未熟練又は未経験労働者を受け入れる余地は殆んどない。しかし定時制業務においては全日制業務についてよりも多方面に互る技能が要求されることは少い。雇用主が定時制労働者に期待するのは定時制労働者が既に身につけているものを定時制業務の緊急の要求に役立てることであつて、定時制労働者のために長期の訓練のための時間又は出費を負担する余裕はない。

婦人が定時制業務に使う技能は全日制業務におけると同じである。例えば書記、販売、個人的サービス、技術及び専門的知識等における技能である。然し定時制業務においては時に一点に集中した技能の専門化が認められる。これは全日制業務においては大抵の場合容認されないことである。この点は特に成人教育、芸術及び手芸、出版業務等については顯著である。個人的趣味において秀でた技術や特殊の物事に対する関心は定時制業務の技能に転換された事が多い。婦人局の調査した婦人の定時制労働者九千人以上の者の技能の種類はその融通性及び適応性において印象の深いものであつた。

技能の種類は多方面に恒るものではあつたが、調査した定時制婦人労働者の大多数のものは販売、食堂、書記等の婦人の職業としては最も主要なものに従事していた。教育、看護、社会福祉業務は調査に現れた主要な職業であつた。定時制婦人労働者の業務は全日制のそれと比較すると、業務時間割が短い点を除いては、その業態、及び業務の場所に関しては殆んど変るところがない。

技能及び経験を除いては定時制業務に対する条件は比較的重要性が少い。三五才以上の円熟した年令に達していることは定時制業務に就き易い条件よりも有用な資格であるかもしれない。全体として言えば、婦人局の調査した使用者は婦人を定時制労働に雇用する際に年令を重要な又は決定的な要素と考えなかつたと報告している。調査した婦人労働者の年令は大多数の者が三五才から五五才までであつた。配偶関係については、使用者は定時制業務を望んでいる者は皆有夫者か、未亡人か又は職業から身を退いた独身の婦人であらうと予期している。

三、定時制労働への求人と求職

使用者は全日制労働者を補充する場合と同じ方法で定時制労働者を補充していた、ただ一つの相異点は以前の全日制労働者が定時制業務のために「呼び返される」ことがしばしばあることである。個々の会社又は機関が通常労働者補充のために取つてゐる方法——方々に求職運動をしている求職者から直接求職申込を交付ける方法、職があいてゐることを友人や労働者に知らせる方法、職業団体やその他特殊な団体を調べる方法、新聞の求人欄に広告する方法、公共職業紹介機関又は私設職業紹介機関に求人する方法、——等が定時制労働者を見出すために採られるのが常であつた。

婦人の言うところによれば、友人、親戚、以前の雇用主が定時制業務を見付けるのに最も有力な助けになつたという。ある人達は教育機関、職業団体、宗教団体を通じて仕事の手づるを得た。公共又は私設職業紹介機関が定時制業務に就くについて重要な役割を果たしたことはなかつた。又婦人が定時制業務を求める上において職業相談所に役に立つことは非常に少い。

四、労働時間、所得、手当

定時制業務の著しい特徴である短い業務時間制も定時制業務の種類が多様であるように変化があることが判明した。一日四時間で五日間にわたる一週二〇時間制が最も普通の時間制である。調査した定時制労働者の労働時間は成人教育の教師は僅か二時間、然るに食堂給仕の如きは三〇時間にも及んでいる。今一つよく見られる時間制は一週三四時間の三日の労働である。

賃金率は類似した全日制業務に一般に通用してゐる賃金率に従つて決定されてゐた。定時制の賃金は時間に従つて決定されてゐた。教員は大抵の定時制労働者よりも遙かに高い時間給を受けてゐた。又計算器係は一般的に書記的業務の労働者のうちでは最も高い賃金を得てゐた。定時制販売員の内には歩合をもらつてゐる者も若干あつたが、多くの者はそうでなかつた。定時制食堂給仕は最低の時間給を受けてゐたが、通常最低一回の食事の給付及びチップをもらつてゐた。

定時制労働者の実質賃金は使用者が所謂「追加手当」——特に全日制労働者が受けてゐる有給休暇及び病氣休暇——を定時制労働者に対しても与えたので増加した。婦人局の調査によれば全日制労働者にかかる利益を確立した企業が定時制労働者に対しても同じ利益を若干合理的な修正はしてではあるが与へることが多くなつてゐる。使用者のうちには定時制労働者のためのかゝる追加手当について政策及び慣習を發展せしめたものも若干あり、それは定時制業務の恒久性及び安定性を再認識する効果を齎した。

五、定時制労働の長所短所

定時制労働というものが合理性を持つものであるか否かは使用者、労働者及び社会に対してその利益が不利

益より大きい点にかの点に掛つてゐる。婦人局が調査した使用者は皆定時制労働者を取扱つた実際の経験を持つていたものであつた。ある使用者は長期間定時制労働者を使用してゐた。これらの使用者は既に経験のある使用者として定時制の危険及び利益を知つてゐた。勿論このことは調査した労働者についても言えることである。殆んど全部の使用者は定時制労働者を使用することは使用者にとつて利益があり、又三分の二以上の使用者は「何等の不利点」もないと言つてゐた。約三分の一に近い使用者は定時制業務には有利な点も不利な点もあるが有利な点が圧倒的に多いと考へてゐた。若し利益が不利点よりも少なくなつたとすれば、使用者は定時制労働者を雇用することを止めたであらう。

使用者に対する利益というのは使用者が定時制労働者を使用する理由に殆んど対応するものであつた。定時制労働者は使用者に次のような点において貢献した。即ち

一定期間に遂行すべき最大量の業務又は繁忙時を処理すること

全日制労働者に交替して働く労働者を供給すること

全日制労働を必要としない業務について有力な援助を与えること

定時制により行われている種々の特殊な役務又は活動に備へること

制限された予算の限度を守ること

短い時間割によつてのみ可能な人々の技能を活用すること又は専門的な労働者の不足がある場合にも訓練されたスタッフを供給すること

定時制労働者が定時制労働者として雇用された目的を果す場合には、大抵の使用者は定時制業務を利益のあるものと考えてゐた。

定時制について苦情を持つてゐた使用者は定時制労働について非常に重要な欠点を指摘した。この欠点のある部分は是正出来るものであつたし、又是正すべきものである。定時制の欠点を指摘した使用者は三分の一にすぎないものであつたが、彼等の言うところは言葉にはつきり表明されたものであり、又個々の点に具体的に触れたものであつた。使用者の苦情の主要な点は婦人の定時制労働者の信頼出来にくい点であつた。この困難性の背後には家庭の責任の問題がある。これに密接に関連してゐることであるが、「転職率の高いこと」「余りにも多く時間割の変更を望むこと」「連続性の欠如」「必要な特定の時間に就業することを欲してゐないこと」又は出来ないこと」等の欠点がある。病院、社会福祉機関、ある種の商店及び事務所、教育機関はこれらの苦情について最も率直に言明した。

ある使用者達が経験したその他の定時制業務の不利な点は次のようなものである。

「業務責任を分割されること」——定時制労働者は個々の社会福祉の事件や病院患者について一貫した処理

ができない。

余分に運転費用がかかること——定時制労働者には全日制労働者と同じ程度の賃金台帳の手数が必要である。定時制のあるものについては短い交替制の始終をつけるために全日制と同じ程度の「締切り」の手数がかかる。

操作又は計画の認識の欠如——定時制労働者は全日制の幹部と混然一体たらしめることが困難であり、幹部会議又は訓練のための集會に役立たない。

商品についての知識がない——商店においては定時制労働者は商品について完全な知識を持たず、商品に関する不快な業務、例えば商店の開閉時商品を陳列したり、しまい込んだりする仕事に対して責任を負はない。その結果全日制労働者と定時制労働者との間にいさかざがあることも時にある。

調査した婦人労働者は定時制業務を好み、何等不利益があるとは考えず、その業務は「価値のあるもの」と考えていた。定時制業務は収入の補足、外部に対する関心、技能を活用する機会等定時制労働者の欲する要求を満たしたという理由により、定時制労働者はこれを是認していた。定時制業務は結婚した婦人の家庭生活の設計に適し、又家庭生活の内容を豊富にする上に大きな役割を果たしたことも屢々あると彼等は陳べていた。調査した婦人の報告によると、定時制業務に時々附随して生ずる利点があるが、それは家庭生活を改善し、

個人の価値感を増大するが為に特に有意義なものである。一部の人達の言うところによれば、定時制労働によつて身体的、精神的により健康であると感じ、又それはすべての主婦の勇気を養うものであり、又長い年月家事に専念した後、家庭外に出て働く事が楽しいことであると言うことである。成長した子供を持つ婦人は定時制労働に従事し始めた後は、最早自分が「無用の長物」であるとは感じなかった。

婦人によつて指摘されはしなかったが、労働者に対する定時制労働の少くとも二つの欠点は考慮するに価する。或る種の定時制労働は全日制労働と同じ程交通費、衣服及び交通時間が必要であるのに収入は少い。然も大抵の定時制業務は昇給や昇進の可能性のない「行づまり」の仕事であり、高度の訓練を経た婦人でさえその最上の技能を活用するに到らぬ業務に就かせられる傾向がある。調査した婦人達はこの状態を限定された時間割で有給の仕事を得るという主目的のために必要な條件であると容認していた。

一般社会が定時制労働から受ける利益は大なるものである。現在社会があらゆる年令層のために遂行している幾百の余暇を利用した教育及びレクリエーション活動は国民の民主的発達に極めて重大な意義を有するものであるが、これは定時制の教育者や指導者なくしては不可能であろう。社会福祉団体及び宗教団体もまた全日制によらない有給職員を必要とする事業を多く行つてゐる。技能、時間及び社会に対して「何か為になること」をしたいという意志を持つてゐる人にとつて、自発的な奉仕は余りにも高価に過ぎるか又は余りにも不規則で

ある。社会機関における定時制の有給業務は有能な婦人に規則正しい業務と家計に余分の負担を掛けない程度の収入を与える。

社会もまた訓練された教員を現業務に復帰させる定時制労働によつて利益を受ける。既婚婦人は定時制教育業務の分野においてより多く所望される。定時制教員の多くは看護婦学校、幼稚園、成人教育事業の分野に従事しているが、教育状態を改善する計画ならば如何なるものであつても教育制度全体に対して、特に学童及びその両親にとつて有益なものである。定時制労働者は料理店、商店、美容院及びこれと類似の事業所の顧客のためにラツシアワールの通延を寛和するが、これはその社会を一層生活に愉快な場所たらしめる。重要な顧客に対するサービスを合理的なものに維持して行くためには、労働力不足の緊急事態が更にその度を高めて行くに従つて、益々多く定時制労働者に依存することになる。

定時制労働は必要な技能ではあるが婦人が家庭においては所有しているのみで、使用しない技能を「凍結」せしめないという点は社会及び国民経済の観点から見ても決して小さいものではない。数知れぬ主婦や仕事から退いた人達が定時制によつて使用することのできる広範囲の技能及び経験について現在迄使用者が為したこと、はその一部を見本試験的に使用した程度に止るのである。これ等の婦人は大抵全日制度雇用では使用できない。この技能を労働市場に放出することは、たとえそれが定時制という枠内に止るとしても、社会の生産性及び奉仕に貢献する。緊急の事態においては、この点は非常に重要である。というのはいかゝる事態において高度の技能を持つ全日制労働者は高度の発達を上げた現代社会が期待する諸々の役務をそんなにひどく混乱せしめることなく、更に重要な又は更に要求の大なる業務に吸収することができることを意味するからである。